

6月 モニターレポート	担当出張所	毛馬出張所
担当区間	JR東海道本線上淀鉄橋～菅原城北大橋（右岸 8.8～12.2 km）	
モニター実施日時	令和2年6月23日（火）午後17～19時頃・25日（木）17時～18時頃	
天候	晴れ／曇り	

（見出し）

淀川のJR東海道本線上淀鉄橋（右岸 8.8 km）から菅原城北大橋（右岸 12.2 km）についてモニターしました。

河川敷の状態、動植物について報告します。

（内容）

緊急事態宣言が解除されて1カ月が過ぎ、学校も平常どおりの登校になりました。

リモートワーク率も減ったようで、電車も混み始めたようです。

一方、河川敷は人出が激減しています。2ヵ月ほど前には、朝から夕方まで1日を通して、老若男女問わず様々な人たちが過ごしている場所でしたが、そのころの河川敷とはまるで違う場所のようです。

コロナ前の様子に戻ったように思います。

●人の姿の消えた道



時間帯は夕方の17時を過ぎていて、2ヵ月ほど前であればランニングやウォーキングをする人たちが行き交っていました。もちろんずっとこのような状態ではないものの、ずいぶんと

人出減っています。日中とは違い、涼しくなっていたのですが。
もちろん、これは平時に戻ったという証拠で喜ばしいことではあります。

●淀川大堰



淀川大堰の放水がなされていました。ごうごうと大きな音を立てて流れ出で来る水に、しばし見入ってしまいました。大阪がまさに「水の都」というのも納得できる光景でした。



激しい音を立てて流れる水の傍に、平然と大きな鳥が一羽佇んでいました。堂々とした雰囲気、存在感が絶大でした。この辺りではよく鶴を見かけますが、初めて見かけた鳥でした。
サギでしょうか……。それにしても、首が短いように思います。
調べてみましたが、はっきりと一致するものが見当たらず、やはりサギに近いように思います。

● 6月の植物

気温の高い日も多い上に、雨もあり、植物はぐんぐん育っています。



ムクゲの花

ある日突然、というような感じで、大きなムクゲの花が咲き乱れていました。白や薄紫～桃色の花が美しく目を引きました。



アカツメクサ

春には一面シロツメクサが咲いていた斜面でしたが、今はアカツメクサが咲いています。どちらも素朴な丸いフォルムが可愛い花です。



ルドベキア？



ヒメジョオン？

黄色はルドベキア、白はヒメジョオンのように思いますが、確信が持てずに図鑑で調べてみました。確定は出来ませんでしたが、そうであろうと思います。

淀川の河川敷には、四季を通じて色々な植物が見られます。先月多く見かけたチガヤはすっかり穂を落とし、葉だけになっていました。季節の移り変わりとともに変化する自然が楽しいです。

これからもたくさんの鳥やイキキとした草花に出会える場所であって欲しいと願います。

人間の身勝手な行いによって、この自然に悪い影響を与えないように、ひとりひとりが良識ある行動をもって守っていきたいと心から思いました。

6月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

6月のレポートをご提出いただきましてありがとうございます。

4、5月は河川敷を利用される方が例年よりも多くいらっしゃるようにお見受けしましたが、緊急事態宣言が解除され、様々な場所に出掛けられるようになったからでしょうか。

淀川大堰には1～6号まで6つのゲートがあります。平常時は両端の1号ゲート及び6号ゲートを自動

的に開閉させることで放流量を調節しております。降雨などにより平常時に比べて上流から流れてくる水量が増えると、中央の2～5号ゲートも開けて放流量を増やします。写真を載せていただいている鳥はアオサギかと思われます。河川巡視でも発見することがあります。

最後になりましたが、約1年間河川愛護モニターとして活動いただきまして誠にありがとうございました。引き続き、淀川を見守っていただけますと幸いです。